

基礎生物学研究所 「植物環境制御システム」利用の手引き

支援内容

基礎生物学研究所は、文部科学省最先端研究基盤事業「[植物科学最先端研究拠点ネットワーク](#)」として「植物環境制御システム」を整備し、研究者の遠隔地からの植物変異体等の育成や種子増殖を支援します。



利用可能施設

WEB カメラ付き植物育成チャンバー 3室

プラスチック製トレイ (W73 x L130 x H15 (cm)) を1段に2枚おける棚を上下2段に配置した棚を1室に2組設置し、HD 対応 WEB カメラによって植物の生育を遠隔地から観察することができます(1室にトレイ8枚)。各トレイにつき側面に1台のWEBカメラ(図1)と各棚に天上部から俯瞰的な観察用のWEBカメラ(図2)を1台設置してあります。夜間は赤外線補助ランプによって観察可能です。カメラ毎にパスワードが提供され、関連研究グループ以外は見ることができません。

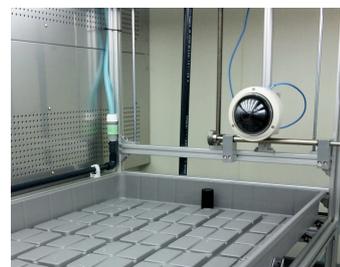


図1 側面のWEBカメラ

WEBカメラの画像は1時間に一度保存され、過去に遡って確認できます。また、自動給水装置によって、定期的に給水されます。3室の内1室は、CO₂濃度を大気~2,000 ppmの範囲で制御できます。

利用の流れ

利用される場合は、「植物環境制御システムの申請書」に記入していただき実施して頂く事になります。高度な利用については、基礎生物学研究所の個別共同利用研究として申請していただく場合もありますので、事前に柵根 (tsugane@nibb.ac.jp) あるいは川口 (masayosi@nibb.ac.jp)までお尋ねください。



図2 天井部のWEBカメラ

利用する上での注意点

遺伝子組換え植物を育成する場合には、基礎生物学研究所研究所組換えDNA実験安全委員会の審査が必要になります。

費用負担

施設の利用に関する費用の負担はありません。植物の育成に係わる物品は、個別共同研究先と相談して用意して下さい。

成果について

本プログラムを利用して生じた研究結果等を論文発表する際は、Acknowledgments等に以下の内容の文章を記載して下さい。

「This research was supported by Japan Advanced Plant Science Network.」

本プログラムを利用した研究成果を論文発表した場合は、その論文の別刷りあるいはコピーを、論文掲載後すみやか本研究所及び、最先端研究拠点ネットワーク事務局（理化学研究所）へ送付して下さい。

支援実績の公開

支援の終了したものから随時、利用申請者・課題番号・研究課題名・支援機関をホームページ上にて公開します。論文が発表された場合もホームページ上に掲載します。